

# 昨年の富士山にアタック!!2013 の新聞記事

毎日新聞 地域面 (2013年7月29日)

新聞

2013年(平成25年)7月29日(月) 山梨 山梨 24



小児がん患者の兄弟姉妹が交流を図る「富士山再生キャンペーン」 富士山にアタック「毎日新聞社、公益財団法人がんの子どもを守る会主催。子供たちにとっては青木ヶ原樹海の散策や富士登山などのイベントを通じて同じ境遇の仲間に出会える貴重な機会となっている。28日におこなった富士登山に同行した。

13回目の今回は、子供ら12人に医師などのボランティアスタッフ19人が同行。山頂と7〜8合目を目指すグループに分かれて挑戦し、山岳ガイドから徹底で「弾丸登山」の解説や、登山道の歩き方などの指導を受けながら歩を進めた。登頂コースは本ら合目の山小屋「本八合

## 「同じ境遇の人は一度足を運んで」

### 小児がん患者兄弟らが登山挑戦 歩き方など指導受け順調に



いろいろを囲んで山小屋「日の出館」の従業員と話す子どもたち  
＝富士山吉田口登山道7合目の山小屋「日の出館」で

目トモ土館(標高3400m)付近まで、7〜8合目コースは7合目の山小屋「日の出館」(同2720m)までたどり着いた。南アルプス市の大学1年、高瀬愛さん(18)は小学3年の時に2歳上の兄(故人)と初めて参加した。

「藤河匠」

加して以来、毎年登っている。「気が置けない仲間に出会える。同じ境遇にある人は一度足を運んでみてほしい」と話す。東京都板橋区の小学6年、酒井直哉君(11)は「富士山は登ると大変だけど、年に一度はみんなと登りたいと思える場所」と笑顔で話していた。

7〜8合目コースに参加した東京都江東区の小学4年、村田涼平さん(9)はほかの登山客に「いつかおしゃしゃり」などと声を掛けながら登山。元気よく来年は登頂したいと話していた。

毎日新聞社会面 (2013年7月29日)



### 小児がん患者の兄弟ら登山挑戦 兄弟姉妹が小児がん



富士登山に挑戦する子供たち＝富士山の古田口登山道6〜7合目付近で28日

になった若者12人が28日、山梨県側から富士登山に挑戦した。同じ立場の若者同士が登山を通して交流する「富士山再生キャンペーン」 富士山にアタック(毎日新聞社、公益財団法人がんの子どもを守る会主催、あいおいニッセイ同和損害保

険ニッセン、他協賛)の二環で、今年で13回目。参加者は山頂への登頂コース(9人)と7〜8合目コース(3人)に分かれて挑戦。7〜8合目コースは午前9時過ぎに5合目を出発

し、同行したガイドやボランティアとともに登山道のごみを拾いながら、ゴールを目指した。

3年半前に2歳上の兄を小児がんで亡くした山梨県南アルプス市の大学1年、高瀬愛さん(18)は「夏の風物詩として毎年来ている。亡くなった兄がくれた、同じ境遇の仲間に出会える」と笑顔で話した。

【藤河匠、写真も】